

本時のねらい

相手の立場や意見を尊重することの大切さを理解し、相手の立場に立って考え、広い心で接しようとする態度を養う。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

Google Forms に自分の考えを書き、スプレッドシートに書きだし、共有することで全員の考えを共有し、そのちがいを比較しやすくする。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・テレビ
- ・Google Classroom
- ・Google Forms
- ・Google スプレッドシート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○「心がすれちがう」ことについて考える。	・あらかじめクラスルームに今日の課題を載せておき、児童もクラスルームを開いた状態で授業を始めることで、よりテンポよく授業を行うことができる。
展開 (35分)	○教員の範読を聞き、「よし子」の心情を考える。 ○教員の範読を聞き、「えり子」の心情を考える。 ○気持ちがすれ違わないためにどうしたらいいか、自分の考えを記入する。 ○クラス全体で共有する。	・Google Forms に自分の考えを書きこみ、送信することでその場で全員の意見を教員が集約することができる。 ・考えがまとまらない児童は、スプレッドシートに表示されていく友だちが送った文章を見ることで、自分の考えを書くための手立てにすることができる。 ・スプレッドシートを個々で見ながら交流するので、座席に関係なく全員の意見を見ることができ、考えの質問や共有がしやすい。
まとめ (5分)	○学習のふりかえりを行う。	・ふりかえりについても、スプレッドシートを見ながら書けるので、友だちの意見を自分の考えと結び付けて書くことができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：考えを記入するポイントや注意点を説明している場面。



写真2：自分の考えを送信し、友だちの考えを見ている場面。



写真3：全員の考えを見比べながら、全体交流した後、ふりかえりを行っている場面。

児童生徒の反応や変容

- ・書くことが苦手な児童が自由に友だちの意見を見ることができるので、意見を共有して書くための手立てとすることは効果的である。
- ・高学年では自分の意見を出すのが苦手な児童も増えてくるが、全員の意見を共有することで、話し合いのときも多様な意見を交流することができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・全員の考えをスプレッドシートに表示することで、多様な見方や考え方を共有でき、道徳的な心情や価値についてより多面的・多角的に考えることができる。
- ・スプレッドシートで共有することで、意見発表の苦手な児童も考えを共有でき、より考えを広げることができる。